

## 第13回検討委員会 グループ討議の内容について

### 実施形態

- ・委員によるグループ討議（ワークショップ形式）
- ・グループ（班）の数は4つ、各グループ（班）にファシリテーターを配置
- ・各グループ（班）の人数は5人程度、種別の異なる委員で構成

### 討議テーマ

#### 『 30年先を見据えた、10年後の十日町市立中学校とは 』

- ① 「子どもと学校 ～学力向上、教職員体制、部活動、通学、  
いじめ・不登校、小中一貫教育、施設整備など～」
- ② 「地域と学校 ～地域との連携、施設の活用など～」

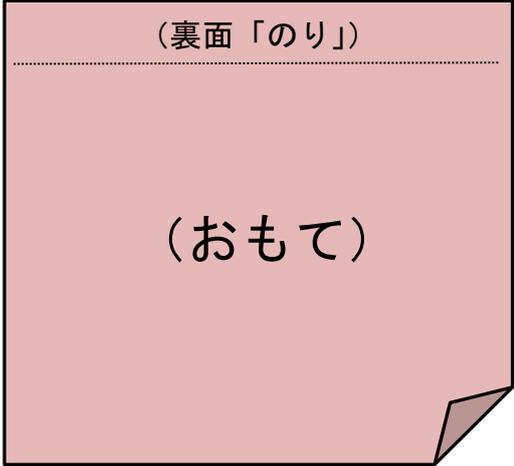
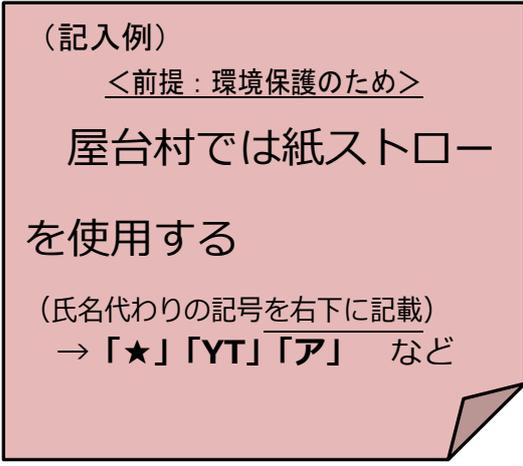
### 討議方法

- ・各自がテーマに関する事項を付箋に記入（テーマ別に色分け）
- ・各自が付箋を説明し、ファシリテーターが関連・類似した付箋を模造紙上に分類
- ・全員で模造紙上にまとめたものを確認し、ファシリテーターが発表

### 留意事項

- ・付箋1枚につき、一つの意見を記入（複数の意見を寄書きしない）
- ・内容は簡潔明瞭に記入（長文を記入しない）
- ・考えがまとまらない場合は、その旨を表明
- ・他者の意見を最後まで聴く（発表者は簡潔に説明する）
- ・他者の意見を否定しない  
(意見を一つに絞ったり結論を出したりするものではありません)

## 付箋の使い方

<p>裏面「のり」部分が上になるよう、付箋のおもて面に記入</p>	<p>付箋1枚につき、一つの意見を大きな字で簡潔に記入 ※各自が氏名代わりの記号を表示</p>
 <p>(裏面「のり」)</p> <p>(おもて)</p>	 <p>(記入例)</p> <p>&lt;前提：環境保護のため&gt;</p> <p>屋台村では紙ストロー を使用する</p> <p>(氏名代わりの記号を右下に記載) → 「★」「YT」「ア」 など</p>
<p>記入した人はカードを読み上げ、模造紙に貼り付け</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・記入内容が不明瞭な場合は、改めて記入</li><li>・意味の近いカード同士をグルーピングし、タイトルを付ける</li><li>・グループに関係線を引いてもOK</li></ul> <p>→ これらはファシリテーターが主導</p>	

## グループ討議の進め方

第13回 市立中学校のあり方検討委員会 意見交換 進行表	
<はじめに>	
19:00	開会あいさつ（委員長） 実施方法等の説明・質疑
<グループ討議> 進行はファシリテーター	
19:10 (25分)	グループ内あいさつ、進行の確認 テーマ『30年先を見据えた、10年後の十日町市立中学校とは』 討議①「子どもと学校～学力向上、教職員体制、部活動、通学、 いじめ・不登校、小中一貫教育、施設整備など～」 (付箋色：黄色)
19:35 (25分)	テーマ『30年先を見据えた、10年後の十日町市立中学校とは』 討議②「地域と学校～地域との連携、施設の活用など～」 (付箋色：青色) 意見内容の確認、グループ内総括
20:00 (20分)	各グループ（班）の意見内容発表
20:20	雲尾委員長講評
<おわりに>	
20:30	事務局連絡 閉会あいさつ（副委員長）
閉会后	模造紙の写真撮影（事務局対応）

## グループ（班）編成（当日出席予定者で構成）

班	ファシリテーター
1	小野塚裕一
2	細木久成
3	藤田 剛
4	山岸正幸

※第6回検討委員会（3月実施）グループ討議の班編成を基に構成

以上